



嵐山東だより

学校評価特別号

京都市立嵐山東小学校
令和5年9月11日

新秋の涼風が肌に心地よく感じられる今日このごろ、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は本校教育にご理解、ご支援いただき、誠にありがとうございます。7月には、学校アンケートにご協力いただきありがとうございました。結果を報告させていただきます。今回の保護者アンケートの回収率は、85%でした。皆様のご意見を大切にし、より高い目標を目指そうと教職員一同決意を新たにしているところです。

<アンケートの見方>

ご協力いただいたアンケートは、ニーズ度調査型アンケートで、保護者、児童、教職員の三者それぞれに、表現の仕方に違いはありますが、ほぼ同じ内容の質問をしています。同じ項目で重要度・実現度を聞き、二つの結果をもとにニーズ度を出すものです。

- 重要度と実現度の最高値は7
- ニーズ度の最高値は49
- 重要度が高く、実現度が低いものほどニーズ度が高い。

数値の見方

5.7 ↑ 0.1

昨年より0.1pt上がって5.7

ニーズ度が高いほど早期に改善が望まれる項目ということになります。ニーズ度によって、学校の魅力や優先的課題、長期的課題を見出していきます。

◎アンケート集計結果

【保護者】

		質問文	重要度	実現度	ニーズ度
1	確かな学力	教職員が、熱意をもって教育活動に意欲的に取り組むこと。	6.4	5.7 ↑ 0.1	14.8
2		学校が、学習環境を整えること。	6.4	5.3 ↑ 0.1	16.9
3		子ども達が、意欲的に学習に取り組み、学習したことを理解すること。	6.4	5.0 →	19.1
4		子ども達が、話を聞く姿勢を身につけること。	6.5	5.1 ↑ 0.1	19.2
5	健豊やかかな心体・	子ども達が、きまりを守って生活すること。	5.9	5.3 ↑ 0.1	15.7
6		子ども達が、よい友だち関係を築いて楽しく過ごすこと。	6.3	5.4 →	16.0
7		子ども達が、基本的な生活習慣を身につけること。	6.1	5.4 ↑ 0.2	16.1
8		教職員が、児童と信頼関係を結ぶこと。	6.5	5.4 —	17.1
9		保護者が、子どもと会話する時間を大切にすること。	6.5	5.4 ↓ 0.1	17.1
10	地域校との家庭連携・	保護者が、教職員に気軽に相談できること。	6.0	5.3 →	16.3
11		学校が、教育方針や教育活動を学校・学年により、HPなどを通して伝えること。	5.7	5.5 ↑ 0.1	14.1
12		保護者が、教育活動(参観・懇談会など)に積極的に参加すること。	5.5	5.3 ↑ 0.4	15.0
13		保護者が、学校から配られるお知らせのプリントなど確認すること。	5.9	5.4 ↓ 0.1	15.2

学校教育目標

自ら進んで学び 人やもの・地域と豊かにかかわる子どもの育成

～なりたい自分に向かって、やってみよう やりきろう～

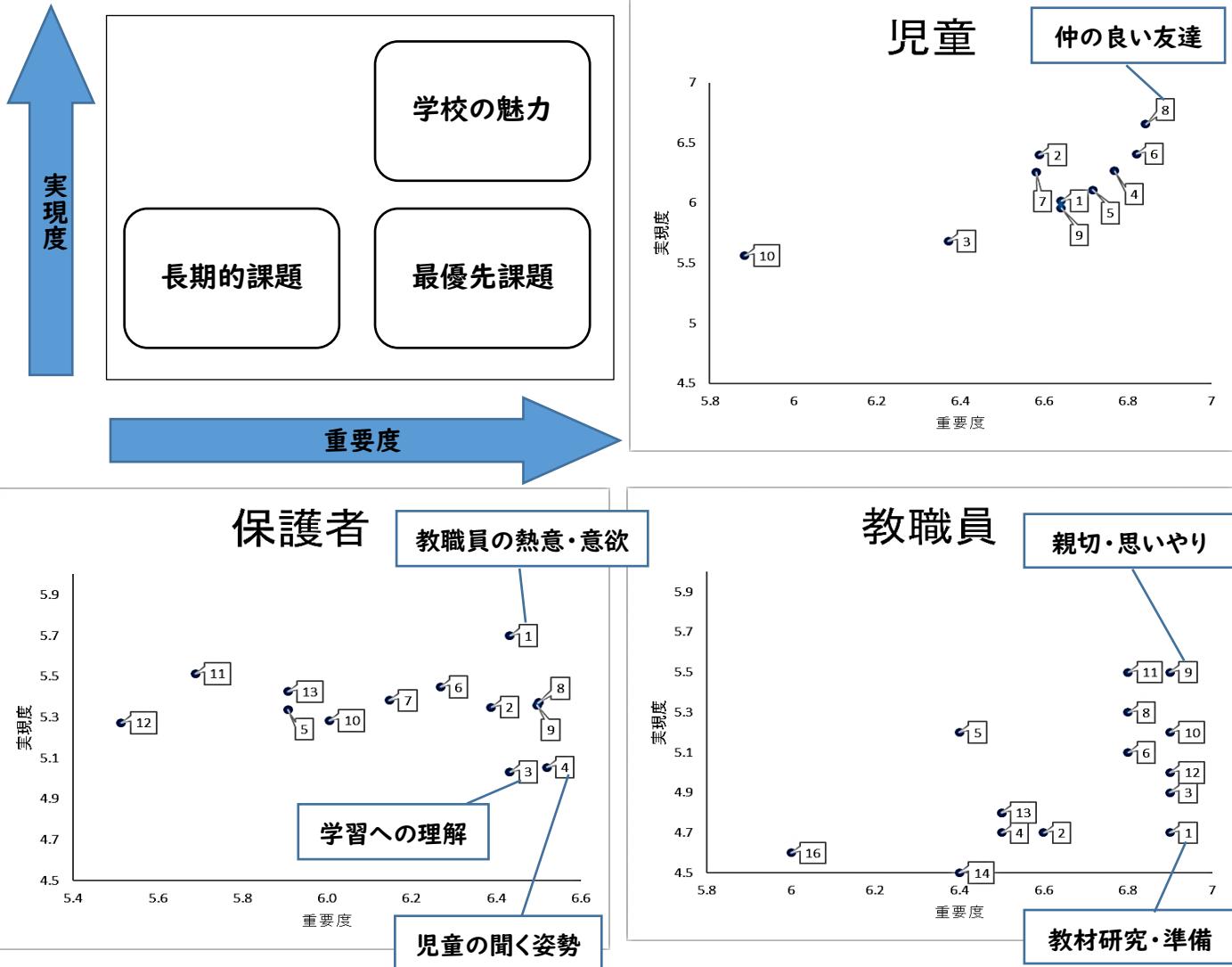
【児童】

		質問文	重要度	実現度	ニーズ度
1	確かな学力	勉強(べんきょう)がわかること。	6.6	6.0 →	13.2
2		しゅくだいをすること。	6.6	6.4 →	10.5
3		じゅぎょう中(ちゅう)に自分(じぶん)からはっぽうすること。	6.4	5.7 ↑ 0.8	14.8
4		先生(せんせい)や友(とも)だちの話(はなし)をしっかり聞くこと。	6.8	6.3 ↑ 0.3	11.7
5	健豊やかかな心体・	学校(がっこう)のきまりややくそくをまもること。	6.7	6.1 ↑ 0.5	12.7
6		友(とも)だちを大切(たいせつ)にすること。	6.8	6.4 →	10.9
7		学校(がっこう)が楽(たの)しいこと。	6.6	6.3 ↑ 0.4	11.5
8		なかよしの友(とも)だちがいること。	6.8	6.7 →	9.2
9		自分(じぶん)からあいさつをすること。	6.6	6.0 ↑ 0.7	13.6
10	地学 域校 と・ の家 連携・	家(いえ)の人(ひと)に学校(がっこう)であったことを話(はな)すこと。	5.9	5.6 ↑ 0.4	14.3

【教職員】

		質問文	重要度	実現度	ニーズ度
1	確かな学力	子どもに学力が身につくように、教材研究・準備をすること。	6.9	4.7	22.77
2		子どもに学習した内容が定着するように、学習課題(めあて)の提示とまとめ・振り返りをすること。	6.6	4.7	21.78
3		子どもの実態や課題に応じて、一人一人を大切にした指導を行うこと。	6.9	4.9	21.39
4		子どもに家庭学習の習慣が定着するよう働きかけること。	6.5	4.7	21.45
5		子どもが、授業中進んで発表するよう働きかけること。	6.4	5.2	17.92
6		子どもが授業中、人の話を最後までしっかり聞くよう働きかけること。	6.8	5.1	19.72
7		授業中、子どもが書く機会を意識して作ること。	6.5	4.8	20.8
8	健豊やかかな心体・	子どもが学校の決まりや約束を守って生活するように指導するとともに、教職員も自ら守ること。	6.8	5.3	18.36
9		子どもが他人を思いやり親切にするように働きかけるとともに、教職員も行動すること。	6.9	5.5	17.25
10		子どもが友だちを大切にし、仲よくできる学級づくりに取り組むこと。	6.9	5.2	19.32
11		子どもが自分から進んで挨拶ができるように働きかけるとともに、教職員自らが挨拶すること。	6.8	5.5	17
12		子どものよさを積極的に見つけ、認め、ほめること。	6.9	5	20.7
13	地学 域校 と・ の家 連携・	保護者が気軽に質問したり相談したりできるように働きかけること。	6.5	4.8	20.8
14		学校の教育方針について理解し、伝えること。	6.4	4.5	22.4
15		学校・学級だより・学校HPなどで、学校や子どもの様子を発信すること。	6.2	4.3	22.94
16		学校行事(授業参観・懇談会など)に参加するように働きかけること。	6	4.6	20.4

*教職員への質問内容は、昨年度の質問を細分化・変更しているため、データの比較はしておりません。



◎アンケート分析

保護者アンケートでは、実現度の半数以上の項目が微増となっており、嵐山東小の教育活動に一定のご理解をいたしていると読み取れます。実現度が微減していたのは、「保護者が、子どもと会話する時間を大切にすること。」「保護者が、学校から配られるお知らせのプリントなど確認すること。」で、前者は保護者の方がお忙しくされているのだろうと推察できます。後者は、今後スクリレを活用することで改善されていくのではないかと考えています。重要度・実現度ともに高い数値だったのは、「教職員が、熱意をもって教育活動に意欲的に取り組むこと。」で、今後も継続して取り組んでいく所存です。逆にニーズ度の高い項目（重要度は高いが実現度が低い項目）として、「子ども達が、意欲的に学習に取り組み、学習したこと理解すること。」「子ども達が、話を聞く姿勢を身につけること。」が挙げられます。子ども達が意欲的に学習に取り組んだり、聞く姿勢を身につけるための手立てを講じたりすることが必要です。学年担当を中心に授業改善を進めてまいります。また、普段の子ども達の様子を保護者の方に発信していくことも重要であると考えています。今回、新たに教職員と児童とのつながりを問う項目を追加しました。実現度は5.4と、ほかの項目と同程度となっています。今後も継続して数値を見取りながら学級経営の改善に生かしていきたいと考えています。

児童アンケートでは、実現度が高い項目がほとんどで、子ども達の自己肯定感が育っていることが読み取れます。「学校が楽しいこと。」「なかよしの友だちがいること。」などの項目から、多くの子ども達は安心して学校生活を送っているようです。特に実現度が上がったのは、「授業中に自分から発表すること。」(0.8pt↑)で、ほかの項目より実現度は低いものの子ども達の話そとする意欲が高まりを感じ取れます。「自分からあいさつすること。」(0.7pt↑)の項目は、児童会のあいさつ運動の取り組みが影響していると考えています。「先生や友だちの話をしっかり聞くこと。」の項目は、実現度が6.3と高く、保護者が考える「聞く姿勢」との乖離があるかもしれません。正しい聞く姿勢を示しながら、授業を進めていきます。

教職員アンケートでは、全体的に重要度は高く実現度が低くなっています。重要と感じているがゆえに、「もっとできるのでは」「まだまだ足りない」という思いがでているようです。中でもニーズ度が高いのは、「子どもに学力が身につくよう、教材研究・準備をすること。」でした。教材研究・準備が十分にできていないと感じていることが、ほかの項目の実現度にも影響していることが考えられます。今後、学年担任制をうまく生かしながら、教材研究・準備を進めるとともに、働き方改革によって、教員が余裕をもって授業にあたれるように努めてまいります。

◎記述欄より

◇学級経営・保護者対応について(12件)

学級経営・保護者対応について、多くの謝意をいただきました。ありがとうございます。一方で、「教職員によって対応が違う」「指導が不適切ではないか」「ホームページにアップされる学年に偏りがみられる」といったご意見もいただきました。真摯に受け止め、改善に努めてまいります。各学級への要望等につきましては、紙面容量の関係上、記載していませんが、全教職員で共有し、同じく改善に努めてまいります。

◇学年担当制・教科担任について(8件)

学年担当制や教科担任が始まることについて、「児童が意欲的に授業に参加するようになった」「子どもの視野が広がる」「教育内容が充実した」「より多くの目で見てもらってありがたい」という肯定的なご意見があった反面、「責任の所在があやふやにならないか」「今までとの違いがわからない」「低学年に必要か」「引継をどうするのか」「育成学級への導入をどうするのか」等の疑問も寄せられました。これからも学年担当制や教科担任を生かしてよりよい教育を目指すとともに、その取組の内容やよさを保護者の方々に発信していきたいと考えています。

◇家庭学習について(6件)

今年度、自主勉強を週1回の提出にしたことについて、「児童の負担が軽減された」「取組の幅が広がった」など、肯定的なご意見が多くみられました。一方で、自主勉強の意義を問うご意見や、宿題が負担になっているというご意見がありました。確かな学力を身につけるため、家庭学習は重要であると考えます。子ども達の負担を減らしつつ学習効果を得られるよう改善を進めていきます。

◇スクリレについて(3件)

スクリレについて、「使いやすい」「お便りの管理が楽になった」というご意見がありました。「全学年・クラスで週予定を配信してほしい」というご要望に関しては、現時点で全学年対応済みとなっています。

◇行事について(3件)

行事について、「平日になり、参加しにくい」というご意見がある一方で「代休日の対応が難しい」というご意見をいただきました。来年度の行事について、なるべく保護者の方の負担を軽減できるように調整を進めています。

◇その他(8件)

学校施設や物品購入、地域とのかかわり等について多岐にわたるご意見をいただきました。すべてに対応することは難しい現状ですが、全教職員で情報を共有しています。

お忙しい中たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。以上アンケート結果について、学校運営協議会理事会では、「学校からの情報発信」「教職員間での情報共有・方向性の統一」をさらに進めていくことを確認いたしました。今期の学校評価を受けて、よりよい嵐山東小学校となるように、さらに力を尽くしてまいります。今後とも、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。